

11ch 880W 出力対応のダイレクトエナジーアンプ HD 搭載

パイオニア史上最高峰の音を奏でる AV アンプ

“SC-LX904”を GREEN FUNDING にて7月19日より限定150台発売開始

オンキヨーグループの事業会社であるオンキヨーホームエンターテイメント株式会社（所在地：大阪府東大阪市、代表取締役社長：大舘 宗徳）は、当社が長年に渡りサウンドに磨きをかけた第6世代のダイレクトエナジーHDアンプを搭載し、これまでのパイオニアブランドのAVアンプ全ての音を凌駕した「SC-LX904」を、CCC（TSUTAYA）グループ株式会社ワンモア（所在地：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：沼田健彦）が運営するクラウドファンディングサイト「GREEN FUNDING」にて2021年7月19日より発売開始することをお知らせいたします。



■ パイオニア AV アンプ史上最高峰の音を奏でる「SC-LX904」を日本にて発売する目的

「忠実に作品に込められた想いを再現するために」、これは当社パイオニア AV アンプの音に対する信念です。その達成のため、パイオニアのフラッグシップ AV アンプは、当社独自の「ダイレクトエナジーHDアンプ」を搭載し続け、新製品開発の都度、前モデルからの音の進化に取り組んでまいりました。2019年、当社は「ダイレクトエナジーHDアンプ」の大幅な改良と共に画期的な音質改善機能を搭載した「SC-LX904」を開発、前モデル「SC-LX901」の音をあらゆる面で超える機種として発表を行いました。

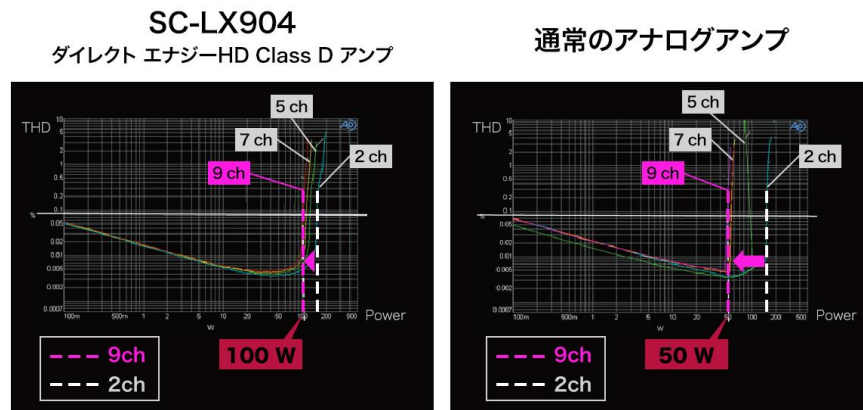
SC-LX904 は、2019年に海外市場では発売しましたが、日本では当社を取り巻く様々な環境から発売されておられませんでした。当社では、この過去発売した全機種の音を越えた「パイオニア史上最高峰の AV アンプ」 SC-LX904 を、日本のお客様にも体験していただきたく、今回クラウドファンディングサイト「GREEN FUNDING」にて発売いたします。是非、この音の進化を体感していただき、驚きと感動を存分に楽しんでいただきたいと考えております。



■SC-LX904 の主な特長

1) マルチチャンネル同時ハイパワー出力を実現する「ダイレクトエナジーHD アンプ」を更に進化

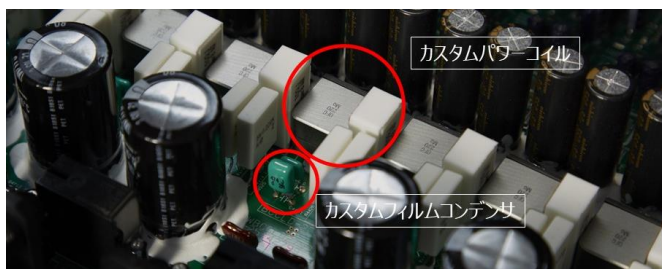
高いスピーカー駆動力と音質に定評のある独自の「ダイレクトエナジーHD アンプ」を更に進化させて搭載し、11ch（880W）の同時ハイパワー出力を実現しています。最近の映画では必須のフォーマットとなっているオブジェクトオーディオの“Dolby Atmos”や“DTS:X”の 3D サラウンドを迫力のあるサウンドで楽しめます。



SC-LX904 の「ダイレクトエナジーHD アンプ」は、心臓部であるパワーコイルを一新し、より理想的なスピーカードライブを実現しています。電源の整流部やダイレクトエナジーHD アンプのフィルタ部に採用しているフィルムコンデンサは神栄キャパシタ社と新規に共同開発し、より表現豊かで安定した低音再生を実現しています。

また、Class-D アンプと AUDIO 部をシールドして分離させた基板を採用しており、プリ段からのバランス信号をシールドし高クオリティ信号をアンプ段に伝送、Class-D アンプの持つ特長を更に進化させています。更にプリアンプ部からパワーアンプ部までのオーディオ信号をバランス伝送とする事で、ノイズを抑えた「ダイレクトエナジーHD アンプ」のより豊かで質の高い重低音の再生を実現しています。

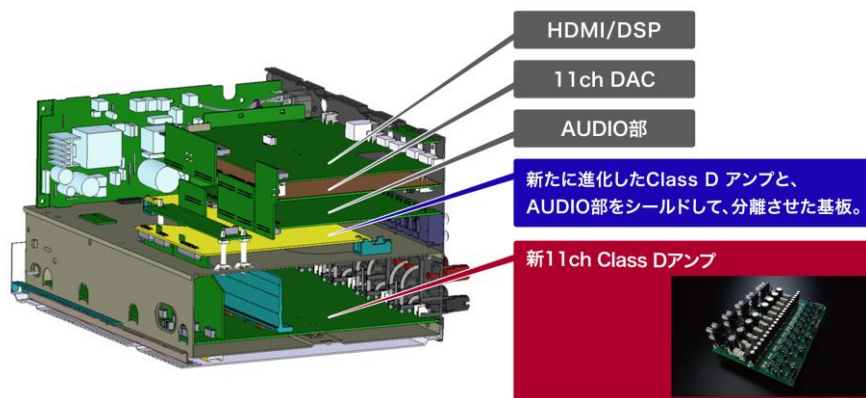
全スピーカー出力が $4\Omega \sim 16\Omega$ のインピーダンスに対応しており、特別な設定や切り替えをすることなく、さまざまなスピーカーと接続できます。



新開発フィルムコンデンサとカスタムパワーコイル



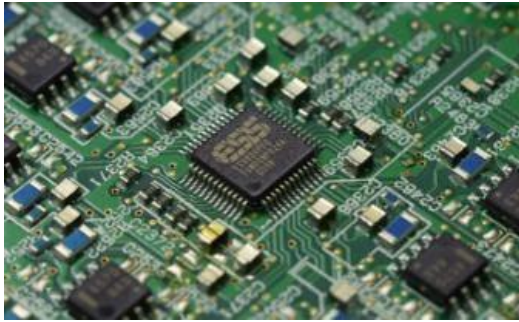
新開発フィルムコンデンサ



2) 高音質プレーヤーで磨いた ESS 社 DAC「ESS9026Pro」を全チャンネル（11.2ch）に使用

パイオニア SACD プレーヤー「PD-70AE」や 4K ブルーレイディスクプレーヤー「UDP-LX800」で採用した高性能 DAC「ES9026PRO」を 2 個搭載しております。この高性能 DAC を全チャンネルに採用し、またマスタークロックとして超低位相雑音の水晶発振器を採用、高 S/N で高精度な D/A 変換を実現し、情報量豊かで力強いサウンド再生を支えます。

この高性能 DAC 全チャンネルの採用と多チャンネル同時ハイパワー出力を実現するダイレクトエナジーHD アンプとの組み合わせにより、どのチャンネルからも同じクオリティで再生・調整が可能となり、パイオニア AV アンプの理念「マルチチャンネルステレオフォニックフィロソフィー」を実現しております。



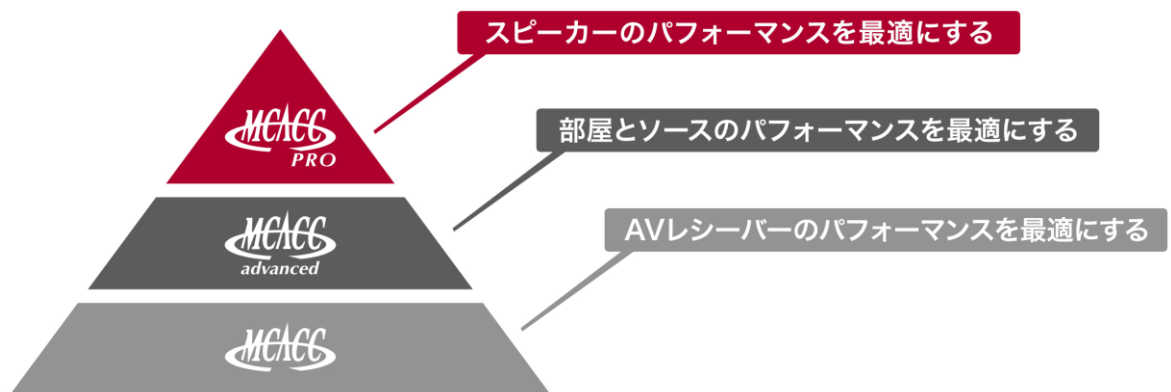
ES9026PRO



超低位相雑音の水晶発振器

3) リスニングルームを理想の再生環境にする自動音場補正技術「MCACC Pro」を搭載

「MCACC Pro」は、付属のマイクによる再生環境の測定結果を基に全てのスピーカーを同一で同じ距離で鳴らした様に調整する「MCACC」の基本機能に加え、コンテンツ内の LFE の遅れを補正する「オートフェイズコントロールプラス」や、部屋の影響による音質の悪化を解消する「定在波制御」および測定時にエアコンの動作音などキャンセルする「暗騒音測定」、さらにスピーカーのユニット間や各スピーカー間で生じる群遅延を解消する「フルバンド・フェイズコントロール」を加える事によって、より精度の高い音場補正を行います。天井に設置したスピーカーの距離も正確に補正するので、Dolby Atmos や DTS:X、IMAX Enhanced の 3D サラウンドの再生に威力を発揮します。



4) IMAXシアターの迫力と没入感を家庭で再現する「IMAX Enhanced」に対応

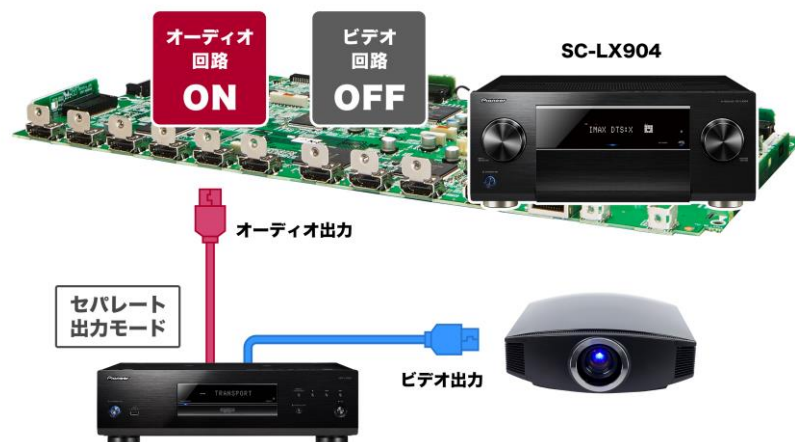
包み込まれる様なサウンドによる圧倒的なシアター体験で人気の「IMAX」をホームシアターで再現する「IMAX Enhanced」のサウンド再生に対応しております。IMAX シアターのサウンドエンジニアによってリマスタリングされた DTS:X の Ultra HD ブルーレイディスクや 4K ストリーミングなどの「IMAX Enhanced」コンテンツを本機の「IMAX モード」で再生する事で、制作者の意図に忠実に IMAX シアターの迫力と没入感のあるサウンドを再現します。また、「MCACC Pro」により、各スピーカーの位相が揃い、スピーカー間の音の繋がりの良い理想的な環境で再生が可能となります。



5) HDMI のビデオ信号回路をオフしてオーディオ再生に特化する「Audio Exclusive Mode」を新搭載

HDMI のセパレート出力を装備した BD プレーヤーなど、HDMI からオーディオのみを出力する機器を接続する際に、AV レシーバー内部のビデオ出力をオフすることで、情報量の多い、空間表現豊かなサウンドを実現します

* BD/DVD 入力のみ対応。



6) ネットワーク機能をオフして高音質・高画質を実現する「AV Direct Mode」を新搭載

使用していないネットワーク機能をオフにする事でオーディオ・ビデオ信号の純度を高め、音質・画質を改善します。ネットワークモジュールの動作クロックを落とすことで音質・画質を改善する Mode1 と、ネットワーク機能を完全にオフする Mode2* があり、用途に合わせて選ぶ事ができます。

*Mode2 選択時は HDMI 出力の GUI 表示ができなくなります。



7) 最高の音を目指した新規パーツの採用

【新アンプに適したブロックコンデンサ】

ダイレクトエナジーHD アンプの進化に伴い、電源部のブロックコンデンサを一新。新ダイレクトエナジーHD アンプのより豊かな重低音の再生を実現しております。

【アムトランス製非磁性メッキの新抵抗】

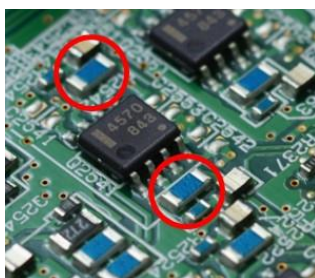
チップの両端の電極部が非磁性メッキの新しい抵抗を採用。DAC の精度を高めアナログ信号の高品位化に貢献しています。

【新スピーカーターミナル】

4mm のバナナプラグを接続できる非磁性体の端子を採用。外来ノイズの影響を受けにくく、信号を高純度でスピーカーへ伝送します。



新開発ブロックコンデンサ



アムトランス製非磁性メッキの新抵抗



新スピーカーターミナル

8) ネットワークソリューションを Single Core から Quad Core へ進化

新たに Quad Core のネットワークソリューションを採用し、安定したネットワークミュージックサービス動作や再生を実現いたしました。様々なネットワークサービスがストレスなくお楽しみいただけます。



【その他の特長】

- Dolby Vision™にパススルー対応
- 4Kパススルー／「Super Resolution」アップスケーリング
- HDCP2.3、HDR10、BT.2020に対応したHDMI端子を装備
- DSD 11.2MHz ネイティブ再生など、多彩なハイレゾ音源の再生に対応
- インターネットラジオ“radiko.jp”、“TuneIn”や音楽配信サービス“Spotify”（Sporify Free 含む）、“Deezer HiFi”、“Amazon Music”に対応
- Play-Fi Critical Listening Mode に対応し、“Amazon Music HD”の再生が可能
- Apple AirPlay 2を始め、様々なリスニングスタイルで選べるネットワーク機能に対応
- マルチルーム対応の “DTS Play-Fi®” に対応。
- Alexa Voice Control に対応しておりますので同じネットワーク内にて Amazon Echo など Alexa に話しかけて操作の一部行うことが可能です。
- ハイレゾオーディオやネットワークオーディオを低ジッターで高音質再生する「PQFA」を搭載
- ドルビー・イネーブルド・スピーカーを最適な状態に調整して再生する独自技術「Reflex Optimizer」搭載
- Dolby Atmosのバーチャル再生を実現するDolby Atmos Height Virtualizerに対応
- 独立サブウーハー出力2系統
- リビングのサウンドを別の部屋や送信機を接続したワイヤレスヘッドホンで楽しめる「ZONE B出力」を搭載
- 圧縮音声をCDに迫る高音質で再生する「アドバンスド・サウンドレトリバー」を搭載
- 3D映像&eARC（オーディオリターンチャンネル）対応
- PHONO（MM）端子を装備
- ワイドFM/AMラジオチューナー搭載
- Roon Tested 認証取得
- PC でも製品の設定可能な Web Setup に対応
- 定在波制御インシュレーター
- 高音質極太 AC インレットケーブルを採用
- システムの設定やネットワーク機能をサポートする GUI
- 再生中の映像・音声の情報を詳しく表示できる OSD

【SC-LX904 の主な仕様】

型番	SC-LX904(B)
■オーディオ特性	
多チャンネル同時駆動出力 (1 kHz、T.H.D. 1%、8 Ω)	880 W (11ch 同時駆動時)
定格出力 (マルチチャンネル) (1 kHz、6 Ω、1 %、1 ch 駆動時)	215 W x 11ch
定格出力 (2チャンネル) (1 kHz、8 Ω、0.08 %、2 ch 駆動時)	140 W/ch
■主な入出力端子	
HDMI 端子	7 入力 (フロント 1) / 3 出力 (すべて HDCP 2.3 対応)
デジタル入力	光 3 系統、同軸 2 系統
アナログ音声入力	7 系統 (CBL/SAT、STRM BOX、BD/DVD、GAME、CD、TV、PHONO)
プリアウト出力	11.2ch(サブウーファー 2 系統)
プリ/ラインアウト出力	2 系統 (ZONE 2 / ZONE B、ZONE 3)
USB 端子	2 系統 (フロント×1、リア×1)
LAN 端子	1 (10BASE-T/100BASE-TX)

アンテナ端子	FM×1、AM×1
スピーカー端子数	11
ヘッドホン端子	1（フロント）
■ネットワーク仕様	
Bluetooth®無線技術	○（Ver. 4.2 対応コーデック SBC, AAC）
無線 LAN	○（5 GHz/2.4 GHz デュアルバンド）
■その他	
外形寸法（W × H × D）	435 mm × 185 mm × 440 mm
本体質量	18.5 kg
消費電力	340 W
待機時消費電力	0.1 W（スタンバイ時）

■SC-LX904 のクラウドファンディングについて

本製品は、CCC（TSUTAYA）グループの購入型クラウドファンディングサイト「GREEN FUNDING」にて、7月19日から販売開始を行います。先行発売前に下記フォームへ事前登録を行うことで、販売開始と同時に最もお得なプランの購入を案内いたします。

●SC-LX904 GREEN FUNDING 事前フォーム URL

https://greenfunding.jp/portals/pages/pioneer_sc_lx904

●クラウドファンディング実施期間：7月19日（月）～8月31日（火）まで

●GREEN FUNDING 価格（税込）

台数限定先着価格：318,000 円（税込み）150 台限定

■GREEN FUNDING（グリーンファンディング）について

日本全国に「TSUTAYA」、「TSUTAYA BOOK STORE」、
「蔦屋書店」、「蔦屋家電」等約 1,100 店舗を展開し、
約 7,000 万人以上が利用する T ポイントを運営する
CCC グループのクラウドファンディングサイト。ガジェット・雑貨・
映画・出版・音楽・地域活性化など様々なジャンルのプロジェクトを掲載。
現在 2,700 を超えるプロジェクト、総計 75 億円以上の資金調達をサポートしています。



■SC-LX904 「IMAX ENHANCED」試聴体験会について

東京両国の ONKYO BASE での以下の要領にて「IMAX ENHANCED」のコンテンツを用いた試聴体験会を実施いたします。この機会にぜひご体験ください。

場所：ONKYO BASE 両国

住所：東京都 墨田区横網 1 丁目 1 0 - 5 KOKUGIKAN FRONT BUILDING 3F

アクセス：<https://onkyobase.com/about>

- ONKYO BASE は完全予約来店制となっております。予約システムにて事前にご予約の上お越しください。また新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数制限の上、マスクの着用などをお願いしております。趣旨ご理解のうえご協力のほどをお願いいたします。また電話・メールによる予約・お問い合わせは行いませんのであらかじめご了承ください。

日時：7 月 17 日（土）PM2:00、PM4:00、PM6：00 計 3 回

7 月 21 日（水）PM3:00、PM5:00 計 2 回

各セッション約 1 時間を予定しております。

予約サイト：<https://onkyobase.com/info/4019351>

- ・「Pioneer」および「Pioneer」ロゴ、「MCACC」、「フェイズコントロール」および「アドバンスド・サウンドレトリバー」はパイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・本機は、「フェイズコントロール」技術を採用しています。本技術を適用した製品にはフェイズコントロールマークが付与されます。「フェイズコントロール」技術とは、ソフト制作時や再生時に発生する「低音のズレ」（時間の遅れ、および位相のズレ）を解消する技術です。
- ・本機は IMAX Corporation 社からのライセンス契約に基づき製造されています。IMAX®は、米国およびその他の国における IMAX Corporation の登録商標です。著作権所有。DTS 特許については、<http://patents.dts.com> をご参照ください。DTS Licensing Limited に基づき製造されています。DTS、DTS:X、および DTS Play-Fi は米国および/または他の国々における DTS 社の商標または登録商標です。© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
- ・Dolby、ドルビー、Dolby Atmos および Dolby Vision は、ドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- ・HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- ・Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・Bluetooth®ワードマークは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- ・ブルーレイ™、ブルーレイディスク™は、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- ・Apple、Airplay は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- ・Amazon、Amazon Music、Alexa およびそれらのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- ・その他文中の商品名、技術名、機能マークおよび会社名等は、当社や各社の商標または登録商標です。

※本件に関するお問い合わせ先※

・報道関係の方：オンキヨーホームエンターテイメント株式会社
商品プロジェクト部 渡邊：akihisa.watanabe@jp.onkyo.com

※当社では、新型コロナウイルス感染防止のためテレワークを実施しています。お問い合わせの際は、メールにて担当者までお問い合わせいただきますよう、お願いいたします。